

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月1日

上場会社名 日東化工株式会社
 コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鍵崎 正己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 森 茂
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 0467-74-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,495	—	24	—	17	—	2	—
20年3月期第1四半期	3,708	△5.8	70	△15.6	63	△18.3	32	△20.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0.07	—
20年3月期第1四半期	0.84	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	8,893	—	3,017	—	33.9	—	78.60	—
20年3月期	8,891	—	3,087	—	34.7	—	80.44	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,011百万円 20年3月期 3,085百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	2.00	2.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	7,000	—	85	—	70	—	30	—	0.78
通期	15,000	1.9	260	12.0	230	14.5	110	6.9	2.86

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 38,400,000株 20年3月期 38,400,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 13,054株 20年3月期 13,050株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 38,386,948株 20年3月期第1四半期 38,387,536株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の事項

・ 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 上期に記載した予想数値には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等に関わる不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお上記の予想数値に関する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題を契機とする株価の低迷や、資源・原材料価格の高騰などの影響が続き、景気の先行きは、不透明感を増しているものと考えます。

このような経済情勢の中で、ゴム・樹脂業界におきましても原材料価格の上昇が続き、当社は収支面では厳しさが増した展開となりました。

このような状況の下、当第1四半期の当社は積極的な営業活動により、販売量の維持・拡大、原材料価格高騰に対処すべく売値転嫁を推進してきたものの、ゴムコンパウンド製品の減販により、対前年同期比大幅な減収、減益となりました。

この結果、当第1四半期の業績は、売上高は3,495百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益は24百万円(前年同期比65.1%減)、経常利益は17百万円(前年同期比73.3%減)、四半期純利益は2百万円(前年同期比91.2%減)となりました。

(ゴム事業部門)

ゴム加工品は前年同期比増となったものの、ゴムコンパウンド製品が、タイヤ向けの需要減等により大幅減販となったため、ゴム事業部門全体の売上高は1,867百万円と、前年同期に比べて17.7%の減収となりました。

(樹脂事業部門)

塩ビコンパウンド製品及び高機能樹脂コンパウンド製品、リサイクルナイロン等の樹脂製品は、前年比増となりました。樹脂事業部門全体の売上高は1,628百万円と、前年同期に比べて、13.2%の増収となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当四半期末の総資産は8,893百万円となり、前会計年度末に比べ1百万円増加しました。

負債は5,876百万円と、前会計年度末に比べ71百万円増加しましたが、主な要因は、未払賞与引当増に伴う増加です。

純資産は3,017百万円と、前会計年度末に比べ70百万円減少しましたが、主な要因は、配当金の支払によるものです。

当四半期の営業活動によるキャッシュフローは、130百万円の収入となり、前年同期に比べ65百万円の収入減となりましたが、主な要因は、売上債権減等による運転資金の減少です。

投資活動によるキャッシュフローは、70百万円の支出となり前年同期に比べ84百万円の支出減となりましたが、主な要因は、設備投資の支払時期のずれによるものです。

財務活動によるキャッシュフローは、76百万円の支出となりましたが、主に、配当金の支払によるもので、借入金が増減はありませんでした。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね年初計画通りに推移しております。原材料価格の上昇が懸念されますものの、売値の是正や更なるコスト削減等の収益改善努力を継続し、当初予想値の達成を目指してまいります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、主として総平均法による原価法から、主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	149	165
受取手形及び売掛金	3,187	3,268
製品	529	496
原材料	417	372
仕掛品	142	136
その他	397	336
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,822	4,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	986	1,001
機械装置及び運搬具（純額）	1,179	1,198
土地	1,504	1,504
建設仮勘定	23	41
その他（純額）	67	64
有形固定資産合計	3,762	3,809
無形固定資産		
その他	1	1
無形固定資産合計	1	1
投資その他の資産		
投資有価証券	64	58
関係会社株式	25	25
関係会社出資金	55	55
その他	166	171
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	307	306
固定資産合計	4,070	4,117
資産合計	8,893	8,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,092	3,087
短期借入金	1,340	1,340
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	40	50
賞与引当金	72	145
その他	468	310
流動負債合計	5,513	5,434
固定負債		
退職給付引当金	313	316
役員退職慰労引当金	49	53
固定負債合計	362	369
負債合計	5,876	5,804

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	1,093	1,167
自己株式	△1	△1
株主資本合計	3,011	3,085
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	2
純資産合計	3,017	3,087
負債純資産合計	8,893	8,891

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,495
売上原価	3,189
売上総利益	306
販売費及び一般管理費	281
営業利益	24
営業外収益	
受取配当金	0
その他	3
営業外収益合計	3
営業外費用	
支払利息	8
その他	2
営業外費用合計	11
経常利益	17
特別損失	
固定資産売却損	5
固定資産除却損	1
特別損失合計	7
税引前四半期純利益	9
法人税、住民税及び事業税	32
法人税等調整額	△25
法人税等合計	7
四半期純利益	2

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	9
減価償却費	96
固定資産売却損益 (△は益)	5
固定資産除却損	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	8
売上債権の増減額 (△は増加)	80
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△84
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△33
仕入債務の増減額 (△は減少)	4
未払費用の増減額 (△は減少)	153
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14
小計	176
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△7
法人税等の支払額	△39
営業活動によるキャッシュ・フロー	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△71
固定資産の売却による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△76
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16
現金及び現金同等物の期首残高	145
現金及び現金同等物の四半期末残高	129

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 事業部門別売上高

事業部門		前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成21年3月期 第1四半期)	増減	伸び率(%)
ゴ ム 事 業	コンパウンド	1,210	802	△408	△33.7
	シート・マット	498	489	△8	△1.8
	成形品・他	560	575	14	2.7
	計	2,269	1,867	△402	△17.7
樹 脂 事 業	塩ビコンパウンド	587	628	41	7.0
	高機能樹脂コンパウンド	623	772	149	24.0
	再生ナイロン他	227	226	△1	△0.6
	計	1,438	1,628	189	13.2
合計		3,708	3,495	△212	△5.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当社は、定時株主総会の決議に基づき平成20年6月26日付で、剰余金の配当を76百万円実施しました。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	3,708
II 売上原価	3,369
売上総利益	338
III 販売費及び一般管理費	268
営業利益	70
IV 営業外収益・費用	△6
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	△8
その他	0
經常利益	63
V 特別損失	0
固定資産除却損	0
税引前四半期(当期)純利益	63
税金費用	31
四半期(当期)純利益	32

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前純利益	63
減価償却費	91
固定資産整理損	0
退職給付引当金増減額(減少:△)	△22
役員退職慰労引当金増減額(減少:△)	△14
貸倒引当金の増減額(減少:△)	0
賞与引当金の増減額(減少:△)	74
受取利息及び受取配当金	△0
支払利息	7
売上債権の増減額(増加:△)	262
棚卸資産増減額(増加:△)	△35
その他流動資産増減額(増加:△)	△18
仕入債務の増減額(減少:△)	△141
未払費用の増減額(減少:△)	△2
その他流動負債増減額(減少:△)	25
小計	288
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△5
法人税等の支払額	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	196
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△155
固定資産の売却による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△115
短期借入金の純増減額(減少:△)	0
自己株式の純増減額(増加:△)	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△73
V 現金及び現金同等物の期首残高	315
VI 現金及び現金同等物の期末残高	241